

農業競争力強化農地整備事業  
(農地整備事業【中山間地域型】)

# 土地改良事業計画書

( 区画整理 )

県	名	岩	手
地	区	綾	織
所	在	遠	野
事	業	岩	手
主	体		県

# 土 地 改 良 事 業 計 画 書

## 目 次

第 1 章	目 的	1			
第 2 章	地域及び地積	2	第 2 節	営農計画及び土地利用計画	30
	第 1 節 地域	2		1. 営農計画の概要	30
	第 2 節 地積	2		2. 土地利用区分	30
第 3 章	現況	3		3. 作付方式	31
	第 1 節 気象及び海象	3		4. 生産計画	32
	1. 一般気象	3		5. 労働改善計画	33
	2. 特殊気象	4		6. 級地別土地利用区分	34
	3. 海象	4	第 3 節	7. 土地配分計画	34
	第 2 節 土地状況	5		用水計画	35
	1. 地形、土壌及び侵食の程度	5		1. 計画基準年	35
	2. 土地分類	7		2. 計画かんがい方式	35
	3. 土地利用の状況	8		3. 計画用水系統	35
	4. 土地所有の状況	9		4. 計画用水量	37
	第 3 節 水利状況	10		5. 水源計画	39
	1. 用水状況	10	第 4 節	排水計画	42
	2. 排水状況	16		1. 計画基準雨量	42
	3. 河川状況	20		2. 計画排水方式	42
	第 4 節 道路概況	21		3. 計画排水系統	42
	1. 道路概況	21		4. 計画排水量	44
	2. 主要道路一覧表	22		5. 排水対策	45
	第 5 節 地域農業の概況	24		6. 湛水検討	46
	1. 産業別就業人口	24	第 5 節	道路計画	47
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	25		1. 道路及び索道	47
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	26	第 6 節	2. 路線配置図	47
	4. 主要作物作付状況	27		農用地造成計画	49
	5. 農業の動向	28		1. 農用地造成計画	49
	第 6 節 地域環境の概況	28	第 7 節	2. 土壌改良	49
第 4 章	一般計画	29		洪水調節計画	50
	第 1 節 事業計画の要旨	29		1. 計画基準雨量	50
	1. 要旨	29		2. 計画洪水量及び調節量	50
	2. 事業別面積	29		3. 貯水池	50
				4. 洪水調節検討	51
				5. 管理計画	51

	第8節	干拓計画	51
	第9節	農用地整備計画	52
		1. 区画整理	52
		2. 暗渠排水	54
		3. 客土	55
		4. 農地保全	55
	第10節	老朽ため池改修計画	56
		1. 洪水吐改修計画	56
		2. 堤体補強計画	56
		3. 取水施設改修計画	56
第5章		主要工事計画	57
	第1節	用水施設	57
		1. 貯水池	57
		2. 頭首工	58
		3. 揚水機	58
		4. 用水路	59
		5. その他かんがい施設	59
	第2節	排水施設	60
		1. 排水水門	60
		2. 排水機	60
		3. 排水路	61
		4. その他排水施設	61
	第3節	道路及び索道	62
		1. 道路	62
		2. 索道	62
	第4節	農用地造成	63
		1. 農用地造成	63
		2. 土壌改良	64
	第5節	洪水調節施設	65
		1. 貯水池	65
		2. 頭首工及び導水路	65
	第6節	干拓施設	65
		1. 堤防	65
		2. 潮止め	65
		3. 付属施設	65
		4. 埋立	65

	第7節	農用地整備施設	66
		1. 区画整理	66
		2. 暗渠排水	67
		3. 客土	67
		4. 除礫	67
		5. 農地保全	68
	第8節	老朽ため池改修施設	69
		1. 貯水池	69
		2. 堤体補強施設	69
第6章		附帯工事計画	70
第7章		工事の着手及び完了の予定時期	70
第8章		環境との調和への配慮	70
第9章		換地計画の概要	71
	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	71
	第2節	換地区の設定	71
		1. 換地区の名称、所在、面積	71
		2. 換地区を設定する理由	71
	第3節	換地計画樹立の基本方針	72
		1. 従前の土地の地積の基準	72
		2. 用途別予定地積	73
		3. 農用地集団化の方針	74
		4. 非農用地換地の方法	74
	第4節	土地の評価及び清算の方法	75
		1. 評価の方法	75
		2. 清算の方法	75
	第5節	換地計画樹立の年度計画	75
	第6節	換地処分の際の時期に関する特則	75
第10章		事業費の総額及び内訳	76
第11章		効用	76
第12章		関連する事業	77
第13章		現況・計画図面	78
		1. 位置図	78
		2. 現況計画平面図	78
		3. 土地利用計画図	78
		4. 主要構造図	78

## 第 1 章 目 的

本地区は、遠野市の中心市街地より西へ約 3 kmに位置する水田地帯であり、南側は一級河川猿ヶ石川、西側は一級河川砂子沢川、東側は宮野目地区、北側は山林に囲まれた未整備地域である。

営農形態は、水稻を基幹作物として畜産や穀物の栽培にも取り組んでいる。

農地状況は、昭和20年代から昭和30年代に寒冷地帯土地改良事業新里地区、寒冷地帯土地改良事業中宿地区で整備されているものの、10a程度と小区画である。また、農道は狭小であることから大型機械導入の妨げとなっている。さらに、水路の多くは用排兼用の土水路であり、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を費やしているほか、水路底が浅いため排水不良を来し、作目の多様化が困難な状態である。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、当地域の担い手へ農地の集積・集約化を加速化し、豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	岩手県 遠野市綾織町新里 地内

### 第2節 地積

(令和6年10月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	区画整理	遠野市	49.0	0.2	-	-	3.3	52.5
計		49.0	0.2	-	-	3.3	52.5	
	計							
合計		49.0	0.2	-	-	3.3	52.5	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)

(第3表-1)

観測所名	遠野地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H25～R4年	5月～ 8月	9月～ 4月		
平均気温(℃)		19.2	5.3	9.9	
降水量	平均(mm)	578.8	601.1	1,179.8	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	45	71	115	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		月 日 ～ 月 日 日間			
無霜期間		5月11日 ～ 10月11日 154日間			
最多風向		W	最大風速 (風 向)	15.8 m/s ( )	最多風向発生時期 最大風速発生年月日
					— —

2. 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)  
(第3表-2)

観測所名 遠野地域気象観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数	年 月 日	発生 確率													
観測期間 M29年～R4年	量			量			量			量			量			
最大日雨量 (mm)	185.0	M43.8.14	1/196	166.0	S18.8.23	1/87	162.0	H19.9.7	1/73	141.0	S54.10.19	1/29	141.0	S23.9.16	1/29	
最大時間雨量 (mm)	49.5	R3.7.21	1/78	48.0	H2.8.7	1/63	45.5	H29.7.18	1/44	44.0	S58.8.9	1/36	38.5	H25.8.9	1/17	
最大4時間雨量 (mm)	117.0	H11.7.14	1/398	97.0	H11.7.14	1/87	93.0	H11.7.14	1/64	80.0	S63.8.30	1/23	76.5	H25.7.26	1/18	
最大3日連続雨量 (mm)	272.0	M43.8.15	1/152	262.0	H11.7.14	1/119	246.0	S22.9.15	1/80	240.0	H10.8.31	1/69	235.0	H11.7.15	1/61	
最大連続旱天日数 (日)	41	S48.6.21	1/-	39	S3.7.18	1/-	35	S18.6.23	1/442	31	S32.6.5	1/68	30	S60.7.14	1/45	

3. 海 象

該当なし

## 第2節 土地状況

### 1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高		最低
			8°～10°	10°～15°	8°～15°														
区画整理	面積(ha)	0.8	39.9	8.3			49.0	0.2							0.2	253.54	241.77		
	比率(%)	1.6	81.5	16.9			100.0	100.0							100.0				
合計	面積(ha)	0.8	39.9	8.3			49.0	0.2							0.2				
	比率(%)	1.6	81.5	16.9			100.0	100.0							100.0				

[土壌]

(第4表-1-2)

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層			区 画 整 理	計		
					表土	下層土								
一層	二層	三層												
柳岡統 灰褐色土壌 強粘土構造型 G60	YR(黒褐)	表層腐植層 なし	なし	あり	C	C	CL	なし なし なし	水積	非固結火成岩 非固結堆積岩	13.6		13.6	
柳岡統 灰褐色土壌 壤土マンガン型 G63	YR (灰黄褐)	表層腐植層 なし	なし	あり	CL	SL	CL	なし なし なし	水積	非固結火成岩 非固結堆積岩	23.6		23.6	
飯岡統 黒色土壌 粘土腐植型 H72	YR(黒褐)	表層腐植層 なし	なし	あり	C	C	-	なし なし なし	水積	非固結火成岩 非固結堆積岩	8.9		8.9	
寺田統 礫質土壌 壤土マンガン型 K93	YR (灰黄褐)	表層腐植層 なし	あり (30~60cm)	あり	CL	SL	-	なし なし なし	水積	非固結堆積岩 固結堆積岩	3.1		3.1	
計											49.2		49.2	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度			ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考	
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの		大なるもの
	面積(ha)											
	比率(%)											

2. 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~ (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	30° 以上 (ha)		
計												

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干				拓		備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)		
計							

3. 土地利用の状況

(令和6年10月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区 画 整 理	遠野市	49.0	0.2								-	3.3	52.5	
合 計		49.0	0.2								-	3.3	52.5	

4. 土地所有の状況

(令和7年2月現在) (第4表-4)

事業名	所有別	個人有	市有	県有	国有	土地改良区有		計	備考
	区分								
区 画 整 理	面積(ha)	49.3	3.2	-	-	-		52.5	
	受益者数(人)	79						79	
	筆数(筆)	392	188	-	23	-		603	現地確認不能地23筆を含む
	権利関係備考 (関係戸数)	(96)						(96)	
合 計	面積(ha)	49.3	3.2	-	-	-		52.5	
	受益者数(人)	79						79	
	筆数(筆)	392	188	-	23	-		603	
	権利関係備考 (関係戸数)	(96)						(96)	

### 第3節 水利状況

#### 1. 用水状況

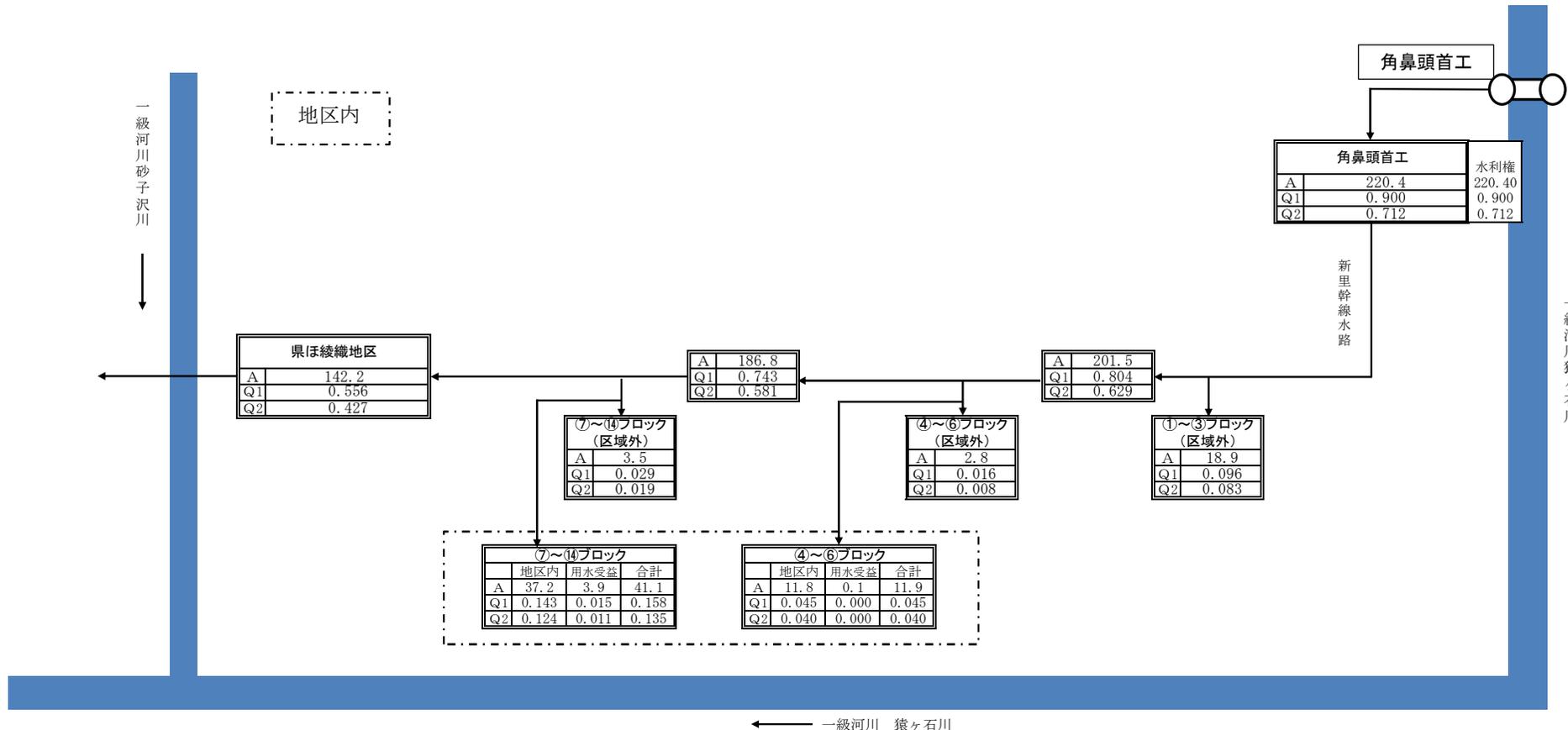
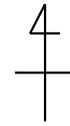
本地区の用水は、一級河川猿ヶ石川に設置された角鼻頭首工で取水し、新里幹線用水路により導水されている系統となっている。新里幹線用水路の各取水工より地区内の小用水路にかんがいしている。

地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているものの、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

#### (1) 用水系統

次頁参照

# 綾織新里地区 現況用水系統図



県ほ綾織地区	
A	142.2
Q1	0.556
Q2	0.427

A	186.8
Q1	0.743
Q2	0.581

A	201.5
Q1	0.804
Q2	0.629

⑦~⑭ブロック (区域外)	
A	3.5
Q1	0.029
Q2	0.019

④~⑥ブロック (区域外)	
A	2.8
Q1	0.016
Q2	0.008

①~③ブロック (区域外)	
A	18.9
Q1	0.096
Q2	0.083

⑦~⑭ブロック			
	地区内	用水受益	合計
A	37.2	3.9	41.1
Q1	0.143	0.015	0.158
Q2	0.124	0.011	0.135

④~⑥ブロック			
	地区内	用水受益	合計
A	11.8	0.1	11.9
Q1	0.045	0.000	0.045
Q2	0.040	0.000	0.040

← 一級河川 猿ヶ石川

地区合計			
	地区内	用水受益	合計
A	49.0	4.0	53.0
Q1	0.188	0.015	0.203
Q2	0.164	0.011	0.175

用水ブロック			
地区内		地区外	
A	かんがい面積ha	A	かんがい面積ha
Q1	代掻用水量(m <sup>3</sup> /s)	Q1	代掻用水量(m <sup>3</sup> /s)
Q2	普通期用水量(m <sup>3</sup> /s)	Q2	普通期用水量(m <sup>3</sup> /s)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s		
区 画 整 理	貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然取水口	-	-	-	-	11	49.0	11	49.0	1	0.203	-	-	0.203	角鼻頭首工
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機(反復)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	11	49.0	11	49.0	1	0.203	-	-	0.203	
合計	-	-	-	-	11	49.0	11	49.0	1	0.203	-	-	0.203		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
区 画 整 理	貯 水 池	-				-		
	井 堰	-				-		
	自然取水口	11	(49.0)			-	区画整理	
	揚 水 機	-				-		
	用 水 路	全体	49.0	土水路	L=9.9km	-	区画整理	
	そ の 他							
	計		49.0					
合 計		49.0						

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)	平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)			
	計									
合計										

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状

該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合計												

## 2. 排水状況

本地区の排水は、地区内の用排水路を経由し、一級河川猿ヶ石川、一級河川砂子沢川へ排水される。

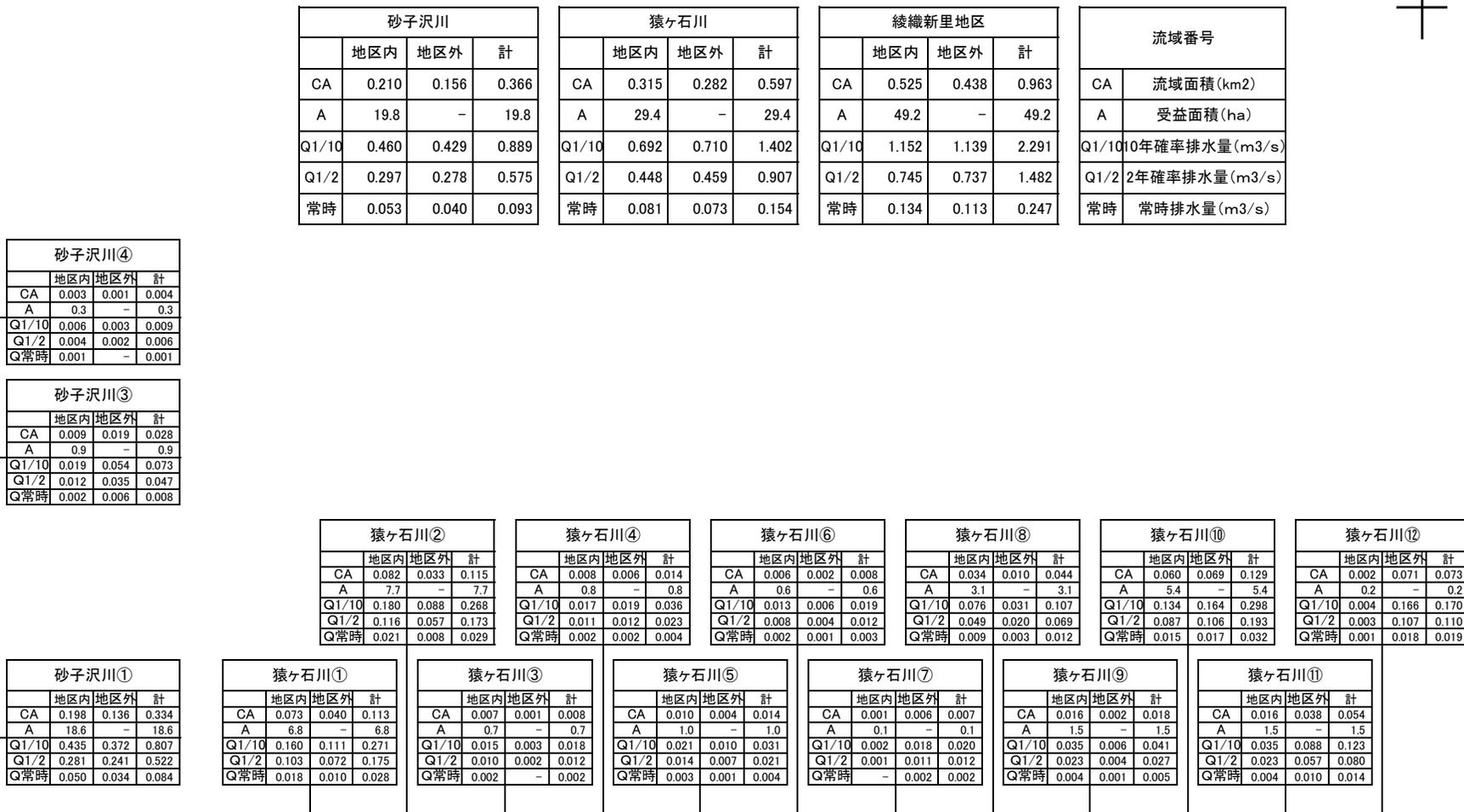
地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

### (1) 排水系統 次頁参照

# 綾織新里地区現況排水系統図

4

一級河川砂子沢川



← 一級河川猿ヶ石川

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考		
			500ha以上		500~100ha		100ha未満					計	
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				箇所	ha
区画整理	自然	排水路					15	96.3	15	96.3		2.291	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計						15	96.3	15	96.3		2.291		
合計						15	96.3	15	96.3		2.291		

※箇所は、排水システムの系統数を示す。

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数 全体	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年 S33~S47	改修を必要 とする理由 区画整理	備考
水門									
機械	排水機								
	水門及び排水機								
	排水路及び排水機								
計			49.2						
合計			49.2						

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)	平均維持 管理費 (千円)	備考	
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他					
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
				平均														
				基準年														
				平均														
				基準年														
				平均														
				基準年														
	計			平均														
				基準年														
	合計			平均														

### 3. 河川状況

#### (1) 河川の現況

該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

#### (2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

## 第4節 道路概況

### 1. 道路概況

本地区を東西に走る国道283号及び一級市道愛宕根岸線、南北に走る国道396号が基幹道路として位置づけられる。さらにそれらに接続する一級市道中宿十文字線、その他市道根岸二日町線をはじめとする地区内のその他市道が地区の生活道路となっている。

ほ場内にある耕作道は、砂利道及び土砂道であり、幅員もほとんどが2.0～3.0mと狭く、大型農業機械の通行や農作物の円滑な搬出に支障をきたしている状況である

## 2. 主要道路一覧表

(第6表) (1/2)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考 (道路番号)
				全幅	有効			
1	国道 283号	県	-	-	-	AS	否	283
2	国道 396号	県	-	-	-	AS	否	396
3	1級市道 中宿十文字線	市	1,010	4.4(4.0)	4.0	AS	否	21004
4	1級市道 愛宕根岸線	"	2,163	4.4(4.0)	4.0	AS	否	21006
5	その他市道 五升橋綾織駅線	"	246	3.2(3.2), 1.8	3.2, 1.8	AS、砂利	否	23180
6	その他市道 上中宿線	"	59	2.5(1.8)	1.8	砂利	要	23183
7	その他市道 雁ヶ瀬線	"	575	2.4(1.8), 2.0	1.8, 2.0	砂利	要	23184
8	その他市道 根岸前南線	"	207	2.5	2.5	砂利	要	23185
9	その他市道 根岸前北線	"	24	3.0(2.0)	2.0	砂利	要	23186
10	その他市道 蛇石線	"	279	2.2	2.2	砂利	要	23187
11	その他市道 蒲浦町線	"	327	2.4	2.4	砂利	要	23188
12	その他市道 西蒲浦町線	"	122	2.4	2.4	AS、砂利	要	23189
13	その他市道 砂場蒲浦線	"	466	2.2	2.2	砂利	要	23190
14	その他市道 長子戸線	"	259	2.5(1.9), 1.8	1.9, 1.8	砂利	要	23255
15	その他市道 矢切線	"	205	2.5, 1.8	2.5, 1.8	砂利	要	23256
16	その他市道 三社線	"	175	2.0	2.0	砂利	要	23257
17	その他市道 日光線	"	222	2.0	2.0	砂利	要	25258
18	その他市道 馬場表西線	"	89	1.8	1.8	砂利	要	23259
19	その他市道 馬場表中線	"	192	1.8	1.8	砂利	要	23260
20	その他市道 馬場表東線	"	147	2.0	2.0	砂利	要	23261
21	その他市道 寒風北線	"	135	1.8	1.8	砂利	要	23262
22	その他市道 寒風南線	"	51	2.8	2.8	砂利	要	23263

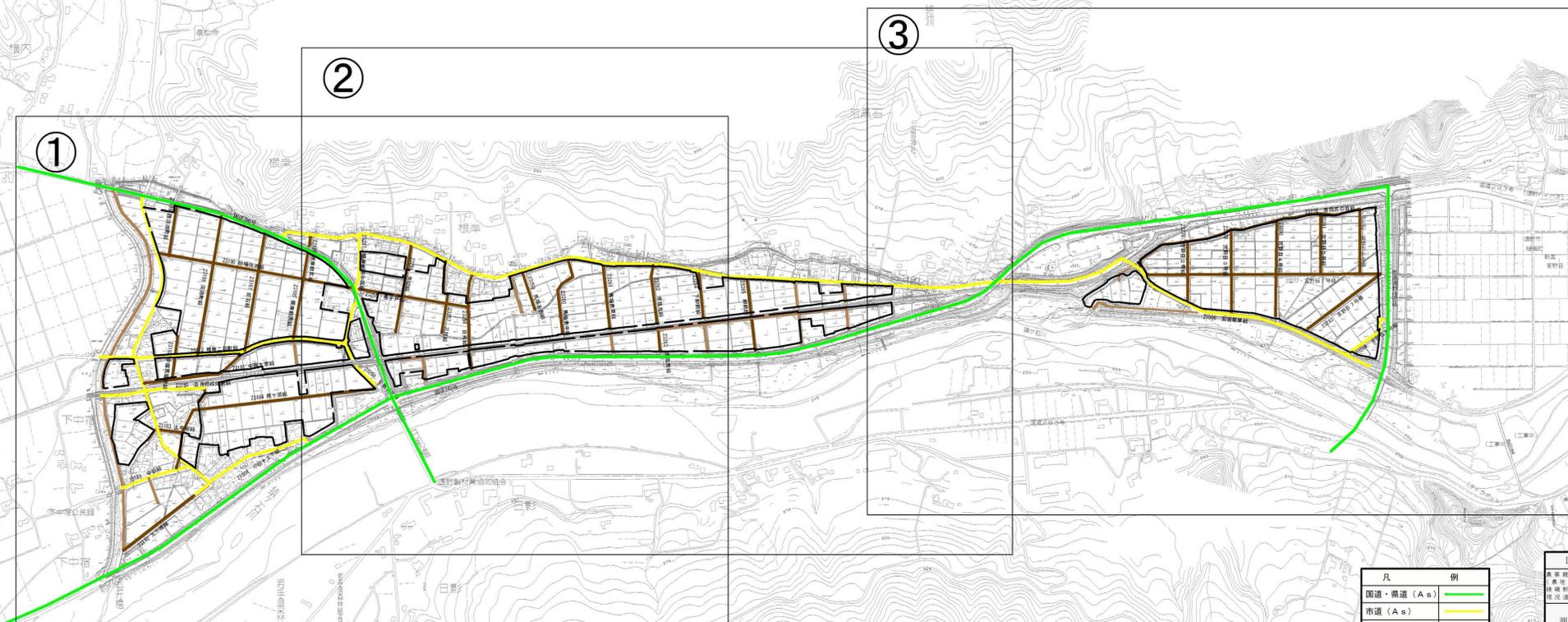
2. 主要道路一覧表

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	
				全幅	有効			
23	その他市道 下柳前線	市	105	5.0	4.2	砂利	要	23264
24	柳前線	"	166	3.2	3.2	砂利	要	23265
25	寒風宮の目線	"	558	4.0	3.2	砂利	要	23276
26	宮野目1号線	"	551	4.0	3.2	砂利	要	23277
27	宮の目2号線	"	137	4.0	4.0	砂利	要	23278
28	宮の目3号線	"	200	5.0	4.2	砂利	要	23279
30	宮の目4号線	"	223	2.6(1.9)	1.9	砂利	要	23280
31	宮の目5号線	"	141	2.4	2.4	砂利	要	23281
32	宮の目6号線	"	152	2.4	2.4	砂利	要	23282
33	宮の目7号線	"	216	2.4	2.4	砂利	要	23283
34	宮の目8号線	"	134	3.1(2.7)	2.7	AS	否	23284
35	根岸二日町線	"	559	5.5(5.0)	5.0	AS	否	23212
36	根岸前雁ヶ瀬線	"	302	4.5(4.0)	4.0	AS	否	23297
37	日陰日光線	"	63	3.0(3.0)	3.0	AS	否	23298
38	中宿大家線	"	254	2.5	2.5	砂利	要	23191
39	中宿荒屋敷線	"	95	1.7	1.7	砂利	要	23192
	その他耕作道	"	1,651					

# 現況道路位置図(全体)

農業競争力強化農地整備事業  
 (農地整備事業【中山間地域型】)  
 綾織新里地区  
 現況道路位置図

S = 1 / 5, 0 0 0

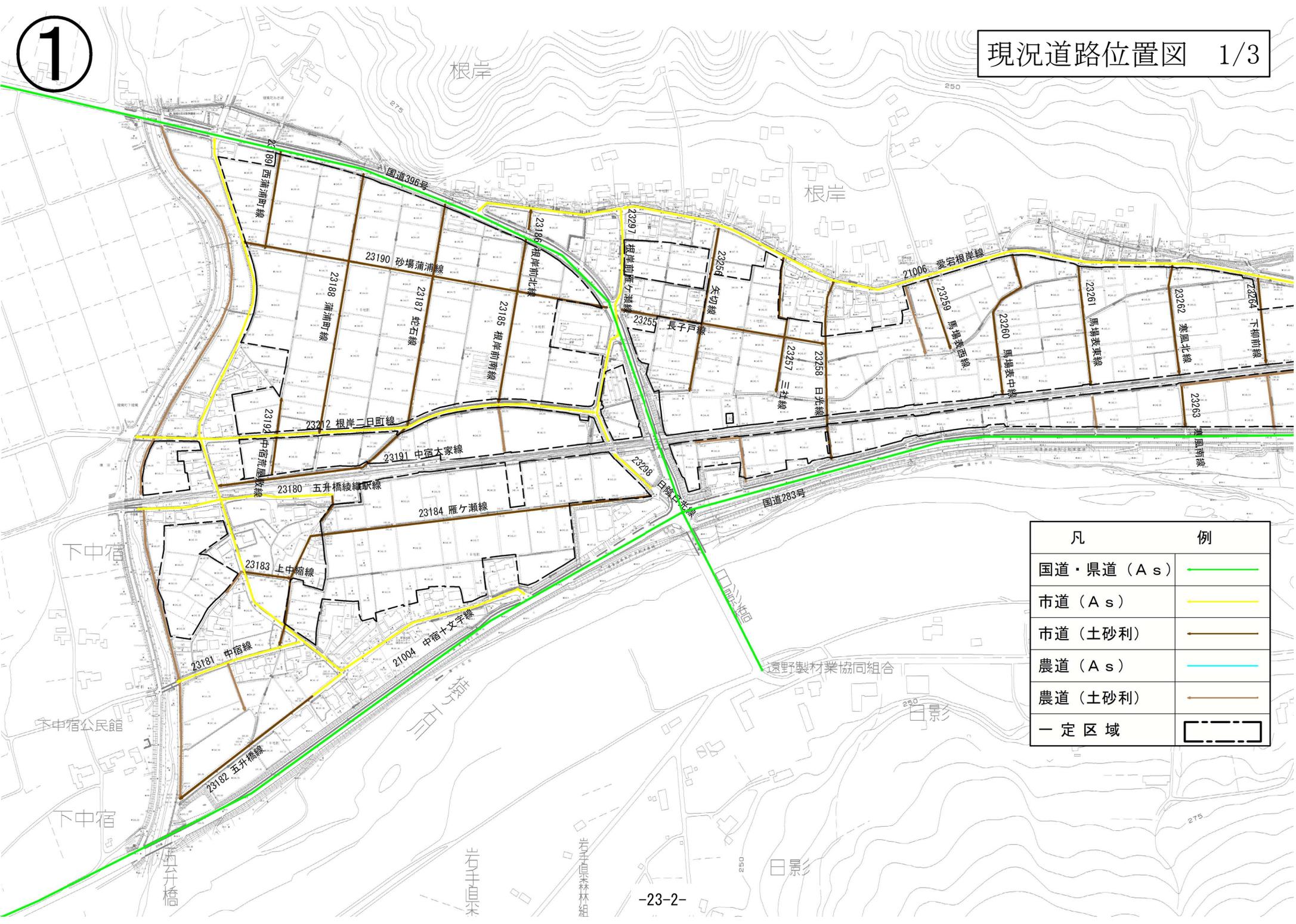


凡	例
国道・県道 (A a)	
市道 (A a)	
市道 (土砂利)	
農道 (A a)	
農道 (土砂利)	
調査区域	

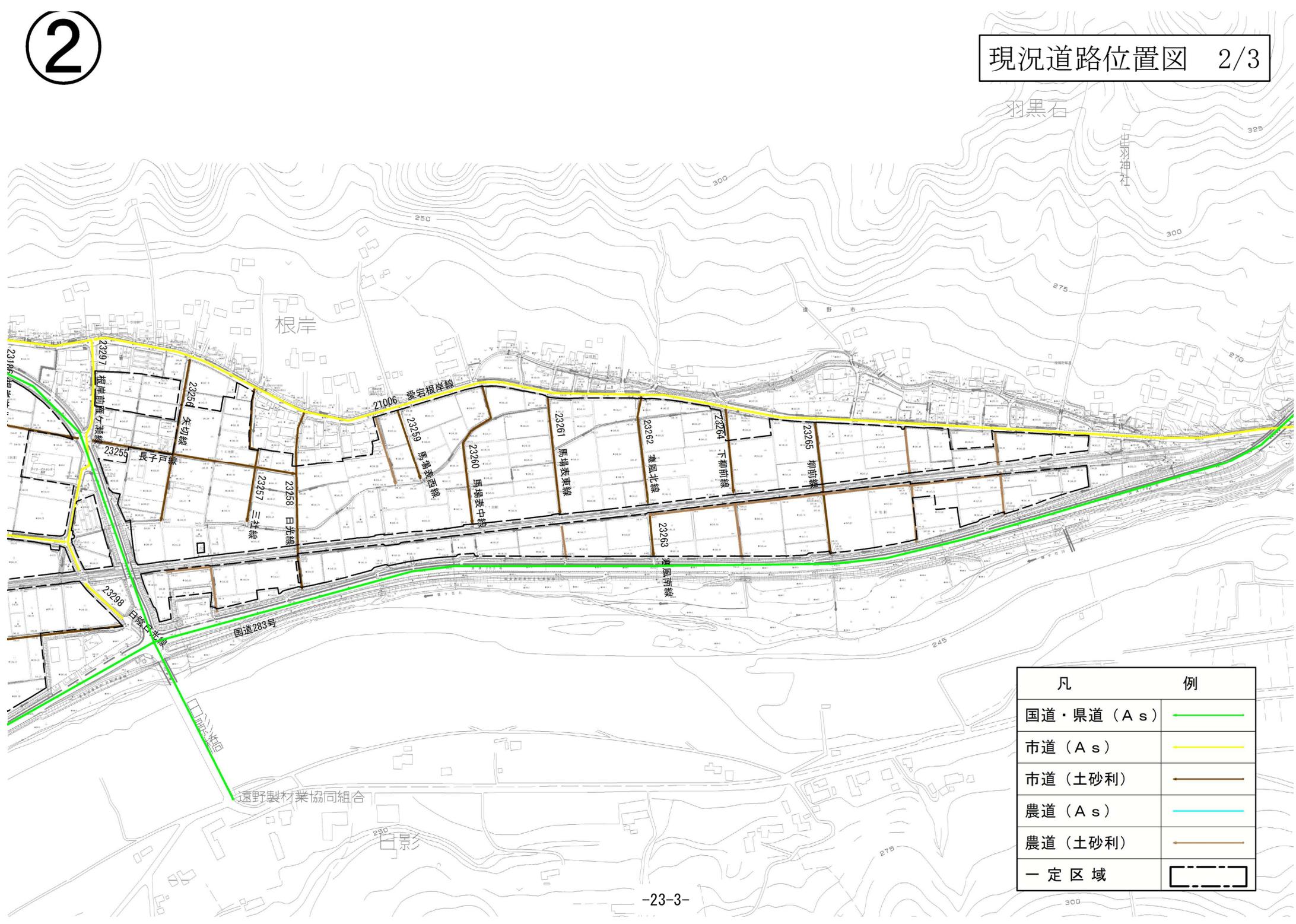
図面の名称	図面番号
農業競争力強化農地整備事業 綾織新里地区 現況道路位置図 S=1/5,000	6
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
頭写	

1

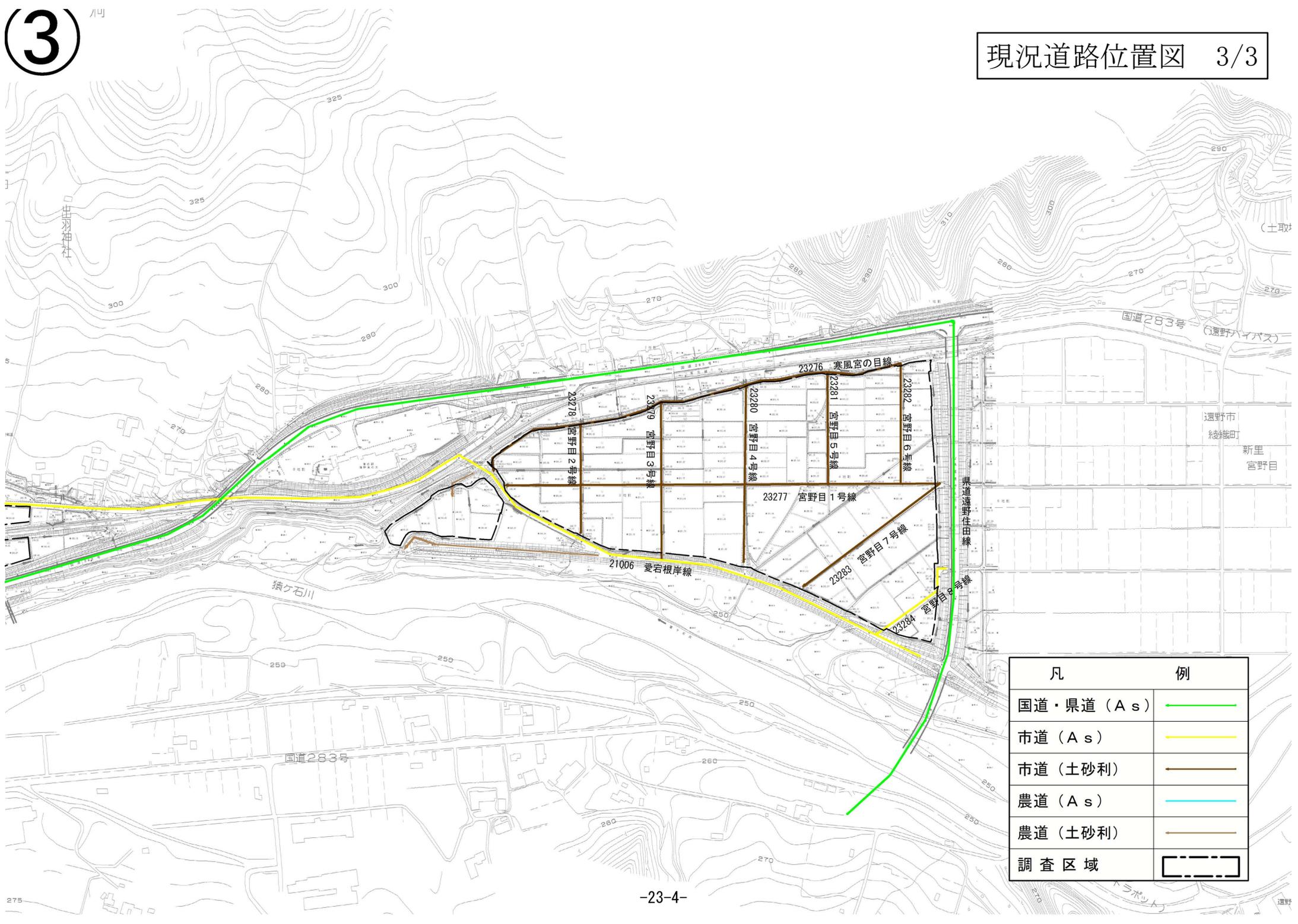
現況道路位置図 1/3



凡	例
国道・県道 (As)	
市道 (As)	
市道 (土砂利)	
農道 (As)	
農道 (土砂利)	
一定区域	



凡	例
国道・県道 (A s)	
市道 (A s)	
市道 (土砂利)	
農道 (A s)	
農道 (土砂利)	
一定区域	



凡	例
国道・県道 (As)	
市道 (As)	
市道 (土砂利)	
農道 (As)	
農道 (土砂利)	
調査区域	

## 第5節 地域農業の概況

### 1. 産業別就業人口

(R2国勢調査)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸売小売業 飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備考
遠野市	13,098	2,001	171	6	24	1,652	2,493	43	485	1,507	160	69	1,904	462	2,121	
計	13,098	2,001	171	6	24	1,652	2,493	43	485	1,507	160	69	1,904	462	2,121	
比率 (%)	100%	15%	1%	0%	0%	13%	19%	0%	4%	12%	1%	1%	14%	4%	16%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											一戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)		備考				
		経営耕地なし	～	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専業		兼業			
			0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	以上	第一種											第二種			
遠野市	2,318											856	1.09	0.67	0.01	1.77	—	1.77	—	—	—	—	—	—	—	
計	2,318	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	856	1.09	0.67	0.01	1.77	—	1.77	—	—	—	—	—	—	—	
比率	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	37%	61%	38%	1%	100%	—	100%	—	—	—	—	—	—		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びトラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
遠野市	-	-	-	-	-	-	-	-	1,043	44	6,672	347	10,301	3	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	1,043	44	6,672	347	10,301	3	
100戸当たり 数量 (台、頭)	-		-		-		-		45		288		444		農家戸数 2,318戸
利用戸数 割合 (%)	-		-		-		-		2%		15%		0%		

4. 主要作物作付状況

(2020農林業センサス)

(第7表-4)

市町村名		遠野市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		7,060				7,060			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付率 (%)	備考
	田	水 稻	1,710	546			1,710		
表作									
豆 類(大豆他)		194	142			194	142	5	
麦 類(小麦他)		6	110			6	110	0	
その他		618	-			618	-	15	
裏作									
小 計		2,528				2,528		62	
普通畑	野菜類	126	-			126	-	3	
	雑穀	12	-			12	-	0	
	いも類	8	-			8	-	0	
	花き類・花木	4				4		0	
	その他	1,412				1,412		34	
	小 計		1,562				1,562		37
樹園地	果樹類	27	-			27	-	1	
	小 計		27				27		1
計		4,117				4,117		100	
市町村別 延べ作付率(%)		58				58			

5. 農業の動向

(2020農林業センサス)

(第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地 域 指 定 等	備 考
		B (H27)	A (R2)		B (H27)	A (R2)	作物名	B (H27)	A (R2)	家畜名	B (H27)	A (R2)	農機具名	B (H27)			
変化の 状 況 (C年を100 とする指数)	総農家数	85	69	耕 地	80	92	水 稻	97	96	乳用牛	61	55	耕耘機 トラクター	89	-	農 振 S45 過疎 H17 酪農・肉用牛 H8 低コスト水田 H3	A:令和2年 (2020)  B:平成27年 (2015)  C:平成22年 (2010)
	専業農家数	88	-	田	78	90	野菜類	80	67	肉用牛	81	58	動力田植機	81	-		
	第1種兼業 農 家 数	64	-	畑	69	65	麦 類	x	21	豚	100	150	コンバイン	92	-		
	第2種兼業 農 家 数	77	-	樹園地	65	49	豆 類	146	156	採卵鶏	71	29					
	農 業 従 事 者 数	73	50				花 類	69	31								
変化の 理 由	総農家数、農業従事者は減少している。		農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水稲は水田畑利用の推進により、減少している。			畜産農家が減少している。			農作業の省力化を図るため、大型トラクター、コンバインの導入が進み、機械台数が減少している。					

第6節 地域環境の概況

遠野市は岩手県の中南部、北上高地の中央に位置しており、盆地状の地形になっている。遠野盆地は早池峰山をはじめとした山々に囲まれており、北上高地の中で最大の広がりをもつ。盆地の中央部を貫流する猿ヶ石川は早瀬川、小友川、宮守川、達曽部川など大小多くの河川が合流し、これらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成されている。国定公園早池峰山は国内でも珍しい草花が見られ、高山植物の宝庫として広く知られている。なお、本地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種の生育・生息が確認されている。

## 第4章 一 般 計 画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

本地区は、昭和20年代から昭和30年代に耕地整備されているものの、区画規模は10a程度と小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが2.0～3.0m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、44.6haの農用地に対し区画整理を行い標準区画1.0haのほ場を整備する。また、暗渠排水10.0haを併せて整備し乾田化を図る。さらに、地区内農道は、総延長6.0kmの支線道路を標準幅員5～4mの敷砂利舗装に、用水路は総延長7.5kmをパイプラインにて整備する。排水路は総延長7.6kmを鉄筋コンクリート二次製品にて整備する。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進し農業経営の安定化を図るものである。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区画整理												計 (ha)	備 考					
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	(ha)	小 計 (ha)							
区画整理	41.8	2.8	-	-	7.9	52.5												52.5	
計	41.8	2.8	-	-	7.9	52.5												52.5	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

農業経営の安定化を図るため、担い手に農地の利用集積・集約化を進め、主食用米を中心としつつ、土地利用型の転作作物を作付する。また、農家所得の向上に向け、園芸作物の作付拡大を図る。

### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
区画整理	現況	49.0	0.2	-	-	-	-	49.2	-	-	3.3	52.5	
	計画	41.8	2.8	-	-	-	-	44.6	-	-	7.9	52.5	
	現況												
	計画												
計	現況	49.0	0.2	-	-	-	-	49.2	-	-	3.3	52.5	
	計画	41.8	2.8	-	-	-	-	44.6	-	-	7.9	52.5	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												4 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				区 画 整 理	現 況	水稲 + 飼料 作物 + 野菜 + 牧草	田																																													
花き	畑																																																			
計 画	水稲 + 飼料 作物 + 野菜	田																																																		
			花き + 牧草		畑																																															

4. 生産計画

(現況本地率 水田:95.9% 畑:99.4%)  
 (計画本地率 水田:97.6% 畑:99.0%)

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加			
区 画 整 理	水 田	表作	主食用米	31.3	31.7	0.4	61.3	67.0	545	563	18	170.5	178.4	7.9	2.3	5.6		
			飼料用米	5.2	3.9	△ 1.3	10.2	8.2	545	559	14	28.3	21.9	△ 6.4	△ 7.1	0.7		
			WCS用稲	3.0	4.8	1.8	5.9	10.1	2,400	2,481	81	72.0	119.1	47.1	44.7	2.4		
			そば	2.0	2.2	0.2	3.9	4.6	79	90	11	1.6	2.0	0.4	0.2	0.2		
			牧草(肉用)	5.6	-	△ 5.6	11.0		1,200	1,200		67.2		△ 67.2	△ 67.2			
			大豆	0.6	-	△ 0.6	1.2		143	143		0.9		△ 0.9	△ 0.9			
			えだまめ	-	2.0	2.0		4.2	283	283			5.7	5.7	5.7			
			自家消費野菜	1.2	-	△ 1.2	2.4											
			自己保全管理	1.9	-	△ 1.9	3.7											
							-											
		小 計		50.8	44.6	△ 6.2	99.6	94.1										
普 通 畑	春夏秋作	トルコギキョウ	0.2	0.1	△ 0.1	0.4	0.2	10,450	10,450	-	20.9	10.4	△ 10.5	△ 10.5	-	(千本)		
		牧草(肉用)	-	2.7	2.7	-	5.7	1,200	1,200	-	-	32.4	32.4	32.4	-			
	小 計		0.2	2.8	2.6	0.4	5.9											
合 計			51.0	47.4	△ 3.6	100.0	100.0											

※作付面積は本地面積で整理  
 ※作付面積は農業用排水施設整備単独受益3.8haを含む。



6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農     地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							計	備 考
		田	輪換耕地	畑						
普通畑	牧草地			樹園地						
増 反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入 植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

昭和48年

(猿ヶ石川掛り)

(『県営かんがい排水事業綾織地区事業成績書』よりかんがい期間の有効雨量連続干天日数、干天総日数の確立1/10、猿ヶ石川渇水量の確立1/10)

#### 2. 計画かんがい方式

水田(水稻) 湛水かんがい方式

猿ヶ石川掛り (角鼻頭首工)

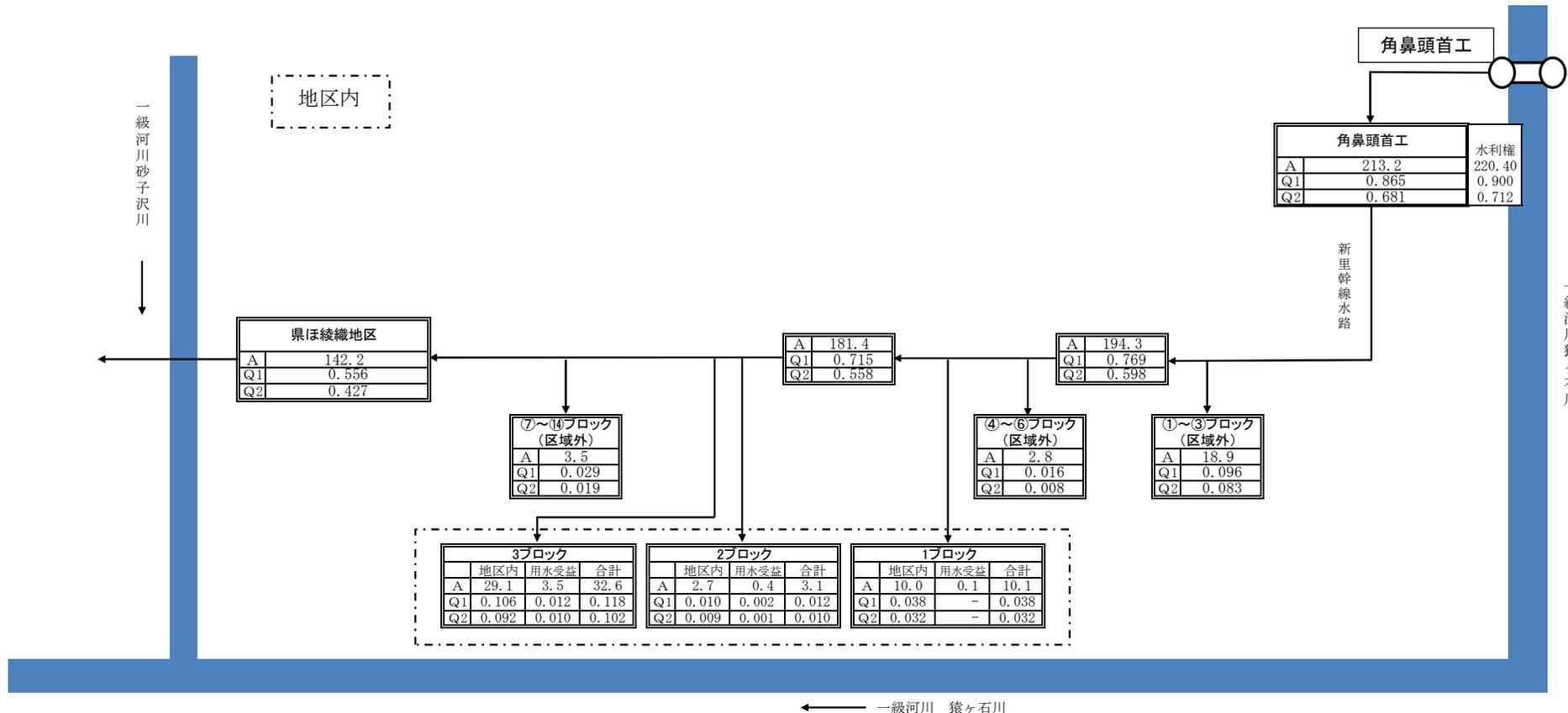
かんがい期間	5月10日～9月10日	124日間
(代掻き期間)	5月10日～5月24日	15日間)

#### 3. 計画用水系統

次頁参照

# 綾織新里地区 計画用水系統図

4



地区合計			
	地区内	用水受益	合計
A	41.8	4.0	45.8
Q1	0.154	0.014	0.168
Q2	0.133	0.011	0.144

用水ブロック			
地区内		用水受益	
A	かんがい面積ha	A	かんがい面積ha
Q1	代播用水量(m <sup>3</sup> /s)	Q1	代播用水量(m <sup>3</sup> /s)
Q2	普通機用水量(m <sup>3</sup> /s)	Q2	普通機用水量(m <sup>3</sup> /s)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名			普通期	代かき期	面	一平均 日当か たり 計水 画深	平均 間断 日数	面	一平均 日当か たり 計水 画深	平均 間断 日数	面	計平均 単 位 用 水 画 量	面			平	最		
		区 画 整 理	地 区 外	計	計 単 位 用 水 平 均 量 (mm/日)	計 単 位 用 水 画 深 (mm)	積 (ha)	(mm/日)	(日)	積 (ha)	(mm/日)	(日)	積 (ha)	(mm/日)	(ha)			均 (m <sup>3</sup> /s)	大 (m <sup>3</sup> /s)		
一級河川 猿ヶ石川	農業用水	41.8	4.0	45.8	29	121	45.8								0.151	10	0.144	0.168			
計		41.8	4.0	45.8			45.8								0.151		0.144	0.168			

※地区外は農業用排水施設整備単独受益

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	(ℓ/日)	(ℓ/日)			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

有効雨量 水田(水稲)：5mm/日～80mm/日の80%

(畑利用)：－

TRAM 水田(畑利用)：－mm

間断日数 水田(畑利用)：一日

かんがい効率 水田(水稲)：90%

水田(畑利用)：－%

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m <sup>3</sup> )	有効雨量 b (千m <sup>3</sup> )	純用水量 c=a-b (千m <sup>3</sup> )	粗用水量 d=c/(1-α) (千m <sup>3</sup> )	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
						e (千m <sup>3</sup> )	f (千m <sup>3</sup> )	g=c-f (千m <sup>3</sup> )	h=d-e (千m <sup>3</sup> )		(千m <sup>3</sup> )		
区画整理	1,417		1,417	1,574	一級河川猿ヶ石川	1,574	1,417					頭首工	損失率：α 0.10 地区外含む
計	1,417		1,417	1,574		1,574	1,417						

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	事業名								
			区画整理	地区外	計						

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量 (m <sup>3</sup> /s)		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理	地区外	計				

(ウ) 揚水機 該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		区画整理		計							

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	区画整理	(地区外)	計				
用水路工	41.8	4.0	45.8	0.134	7,460	VU100~VU500	パイプライン
計	41.8	4.0	45.8		7,460		

※地区外は農業用排水施設整備単独受益

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水質水温 該当なし

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版 遠野地域気象観測所)

最大24時間雨量	127.8 mm (1/10年)	81.9 mm (1/2年)
最大4時間雨量	68.5 mm (1/10年)	44.2 mm (1/2年)
最大1時間雨量	34.6 mm (1/10年)	21.8 mm (1/2年)

### 2. 計画排水方式

自然流下排水

### 3. 計画排水系統

次頁参照

# 綾織新里地区計画排水系統図

4

一級河川 砂子沢川

砂子沢川			
	地区内	地区外	計
CA	0.340	0.220	0.560
A	29.1	-	29.1
Q1/10	0.773	0.601	1.374
Q1/2	0.501	0.389	0.890
常時	0.088	0.059	0.147

猿ヶ石川			
	地区内	地区外	計
CA	0.185	0.218	0.403
A	15.5	-	15.5
Q1/10	0.404	0.538	0.942
Q1/2	0.262	0.348	0.610
常時	0.046	0.054	0.100

綾織新里地区			
	地区内	地区外	計
CA	0.525	0.438	0.963
A	44.6	-	44.6
Q1/10	1.177	1.139	2.316
Q1/2	0.763	0.737	1.500
常時	0.134	0.113	0.247

流域番号	
CA	流域面積(km <sup>2</sup> )
A	受益面積(ha)
Q1/10	10年確率排水量(m <sup>3</sup> /s)
Q1/2	2年確率排水量(m <sup>3</sup> /s)
常時	常時排水量(m <sup>3</sup> /s)

(新設)砂子沢川④			
	地区内	地区外	計
CA	0.278	0.105	0.383
A	24.0	-	24.0
Q1/10	0.630	0.283	0.913
Q1/2	0.408	0.184	0.592
Q常時	0.072	0.028	0.100

砂子沢川③			
	地区内	地区外	計
CA	0.01	0.014	0.024
A	0.8	-	0.8
Q1/10	0.023	0.039	0.062
Q1/2	0.015	0.025	0.040
Q常時	0.003	0.004	0.007

猿ヶ石川②			
	地区内	地区外	計
CA	-	0.004	0.004
A	-	-	0
Q1/10	-	0.012	0.012
Q1/2	-	0.008	0.008
Q常時	-	0.001	0.001

猿ヶ石川④			
	地区内	地区外	計
CA	-	0.002	0.002
A	-	-	0
Q1/10	-	0.006	0.006
Q1/2	-	0.004	0.004
Q常時	-	0.001	0.001

猿ヶ石川⑥			
	地区内	地区外	計
CA	0.005	0.004	0.009
A	0.4	-	0.4
Q1/10	0.009	0.010	0.019
Q1/2	0.006	0.007	0.013
Q常時	0.001	0.001	0.002

猿ヶ石川⑧			
	地区内	地区外	計
CA	0.008	0.008	0.016
A	0.6	-	0.6
Q1/10	0.015	0.025	0.04
Q1/2	0.010	0.016	0.026
Q常時	0.002	0.002	0.004

猿ヶ石川⑩			
	地区内	地区外	計
CA	0.116	0.008	0.124
A	10.6	-	10.6
Q1/10	0.253	0.024	0.277
Q1/2	0.163	0.016	0.179
Q常時	0.029	0.002	0.031

猿ヶ石川⑫			
	地区内	地区外	計
CA	0.004	0.176	0.18
A	0.2	-	0.2
Q1/10	0.010	0.411	0.421
Q1/2	0.007	0.265	0.272
Q常時	0.001	0.043	0.044

砂子沢川①			
	地区内	地区外	計
CA	0.052	0.101	0.153
A	4.3	-	4.3
Q1/10	0.120	0.279	0.399
Q1/2	0.078	0.180	0.258
Q常時	0.013	0.027	0.040

猿ヶ石川①			
	地区内	地区外	計
CA	0.039	0.007	0.046
A	2.7	-	2.7
Q1/10	0.094	0.022	0.116
Q1/2	0.061	0.014	0.075
Q常時	0.01	0.001	0.011

猿ヶ石川③			
	地区内	地区外	計
CA	-	0.001	0.001
A	-	-	0
Q1/10	-	0.003	0.003
Q1/2	-	0.002	0.002
Q常時	-	-	-

猿ヶ石川⑤			
	地区内	地区外	計
CA	0.009	0.002	0.011
A	0.7	-	0.7
Q1/10	0.016	0.006	0.022
Q1/2	0.010	0.004	0.014
Q常時	0.002	0.001	0.003

猿ヶ石川⑦			
	地区内	地区外	計
CA	0.004	0.006	0.01
A	0.3	-	0.3
Q1/10	0.007	0.019	0.026
Q1/2	0.005	0.012	0.017
Q常時	0.001	0.002	0.003

(廃止)猿ヶ石川⑨			
	地区内	地区外	計
CA	-	-	-
A	-	-	-
Q1/10	-	-	-
Q1/2	-	-	-
Q常時	-	-	-

(廃止)猿ヶ石川⑪			
	地区内	地区外	計
CA	-	-	-
A	-	-	-
Q1/10	-	-	-
Q1/2	-	-	-
Q常時	-	-	-

← 一級河川 猿ヶ石川

4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備 考
	事 業 名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平 地		山地	平地	
	区画整理		計									自然排水	機械排水			
一級河川砂子沢川	29.1		29.1		0.560	68.5mm/4hr	1/10確率	1/10確率 1.427～ 3.092	-	0.25		1.374	-	1/10確率	1/10確率 1.427～ 3.092	
一級河川猿ヶ石川	15.5		15.5		0.403	68.5mm/4hr	1/10確率	1/10確率 1.427～ 3.092	-	0.25		0.942	-	1/10確率	1/10確率 1.427～ 3.092	
計	44.6		44.6		0.963							2.316	-			

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積(ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内たん 水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名		計				名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理									
小排水路	0.963	44.6		44.6	2.316	7,596	HF300×300~ HF800×800	砂子沢川 猿ヶ石川	—	—	
計	0.963	44.6		44.6	2.316	7,596					

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目 幅(有効)×延長 (m) (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路(A)	5.0(4.0)×3,201	敷砂利工 (t=0.10m)	国道、市道取付あり	
支線道路(B)	4.0(3.0)×2,770	敷砂利工 (t=0.10m)	国道、市道取付あり	
計	5,971			

(2) 索道

該当なし

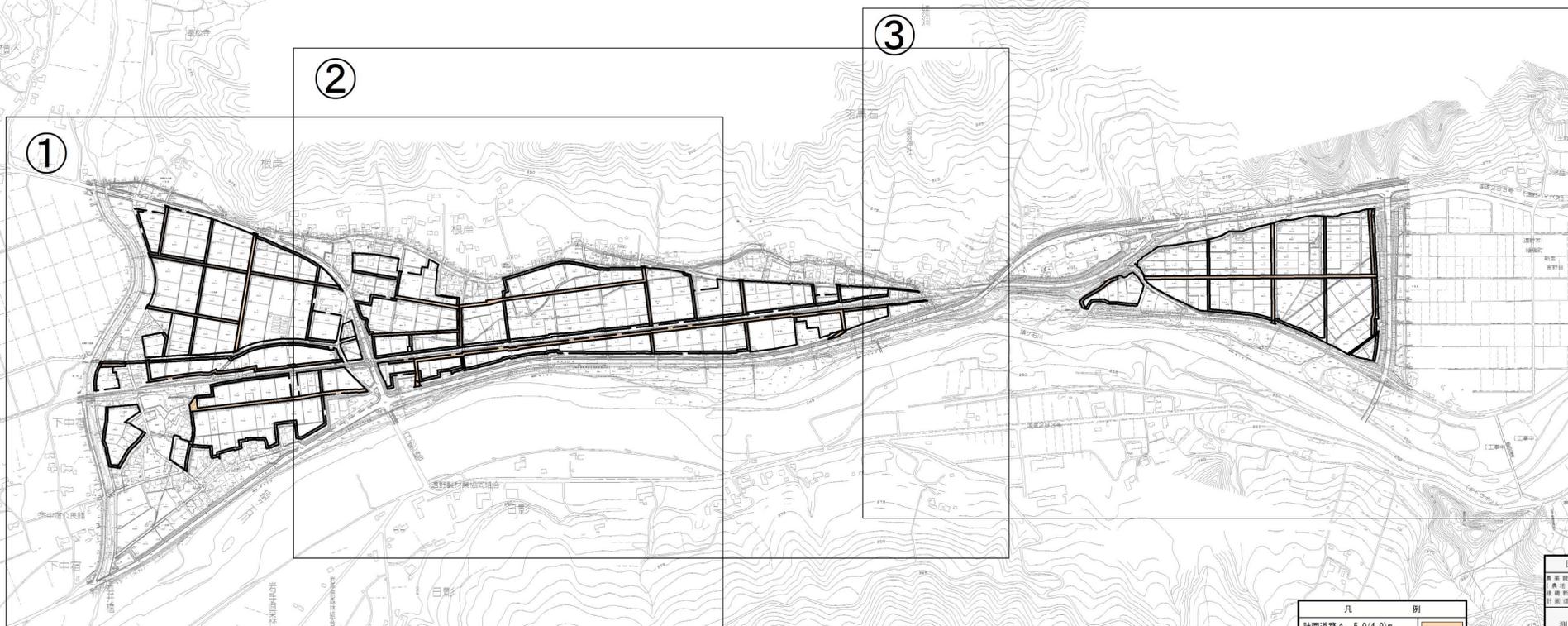
2. 路線配置図

別紙のとおり

# 計画道路位置図(全体)

農業競争力強化農地整備事業  
 (農地整備事業【中山間地域型】)  
 綾織新里地区  
 計画道路位置図

S = 1 / 5, 000

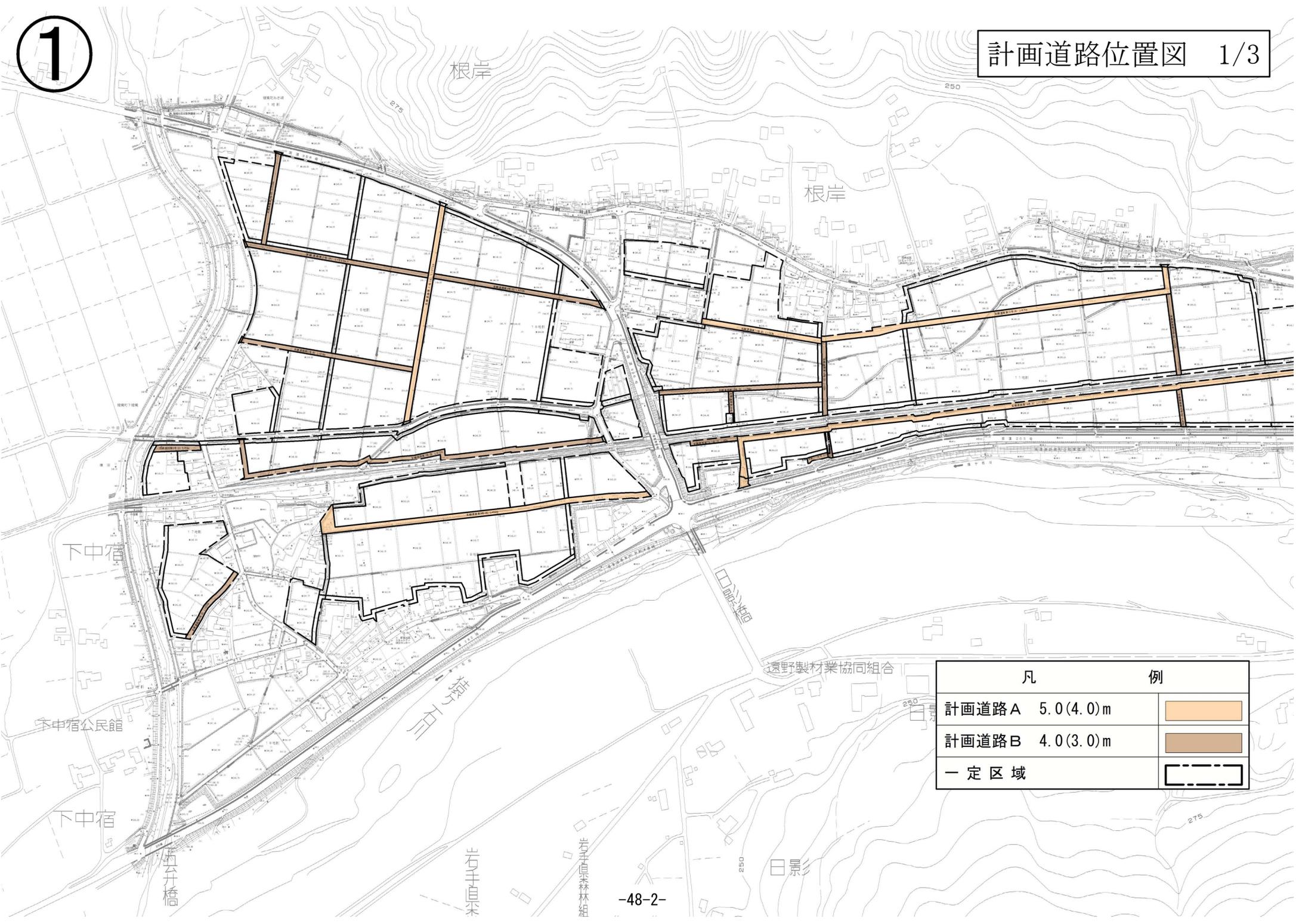


凡 例	
計画道路A	5.0(4.0)m
計画道路B	4.0(3.0)m
一定区域	

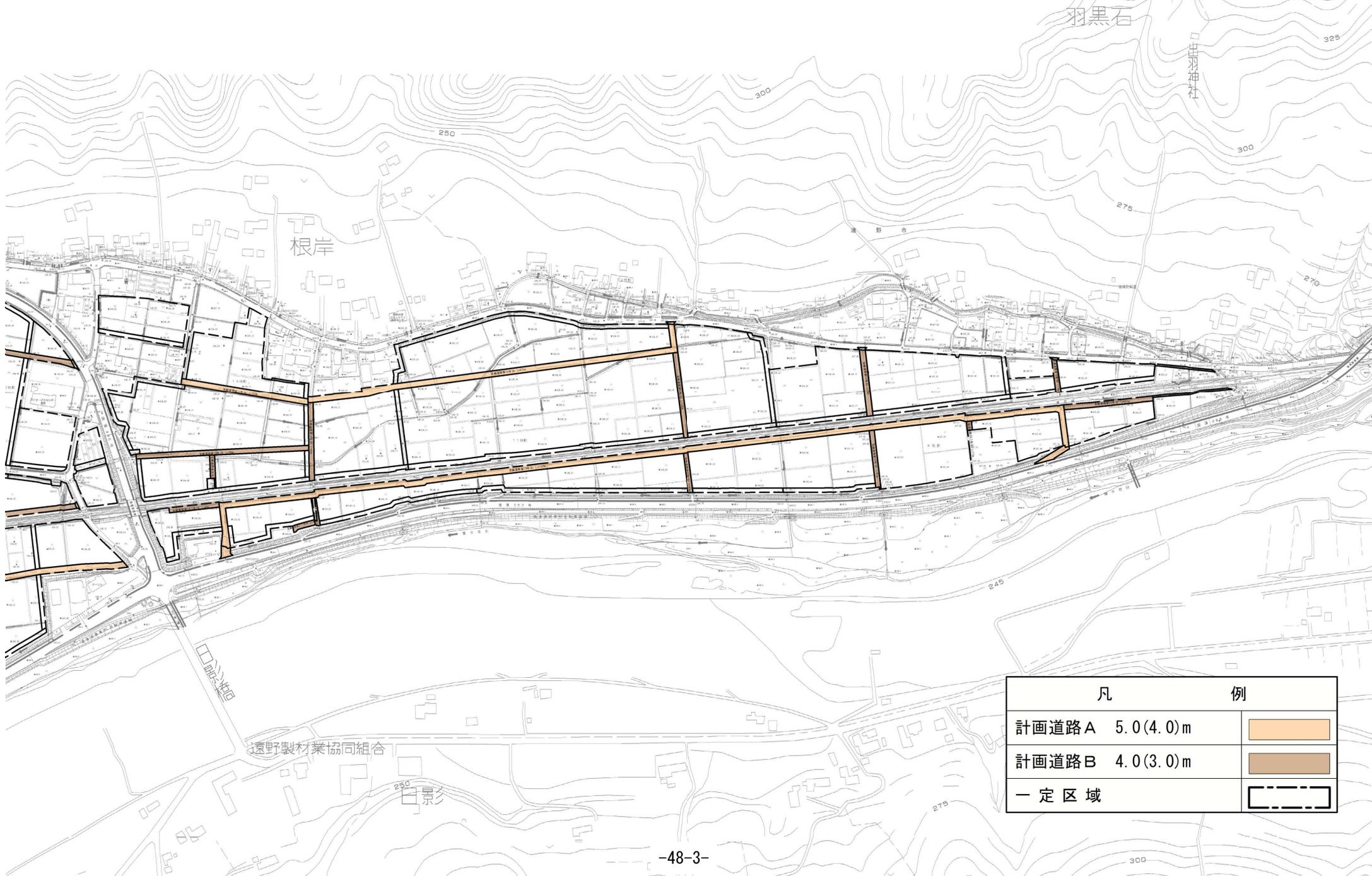
図面の名称	図面番号
農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業【中山間地域型】 綾織新里地区 計画道路位置図	S=1/5,000
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製 原 図	
図 複 写	
令和6年5月30日	

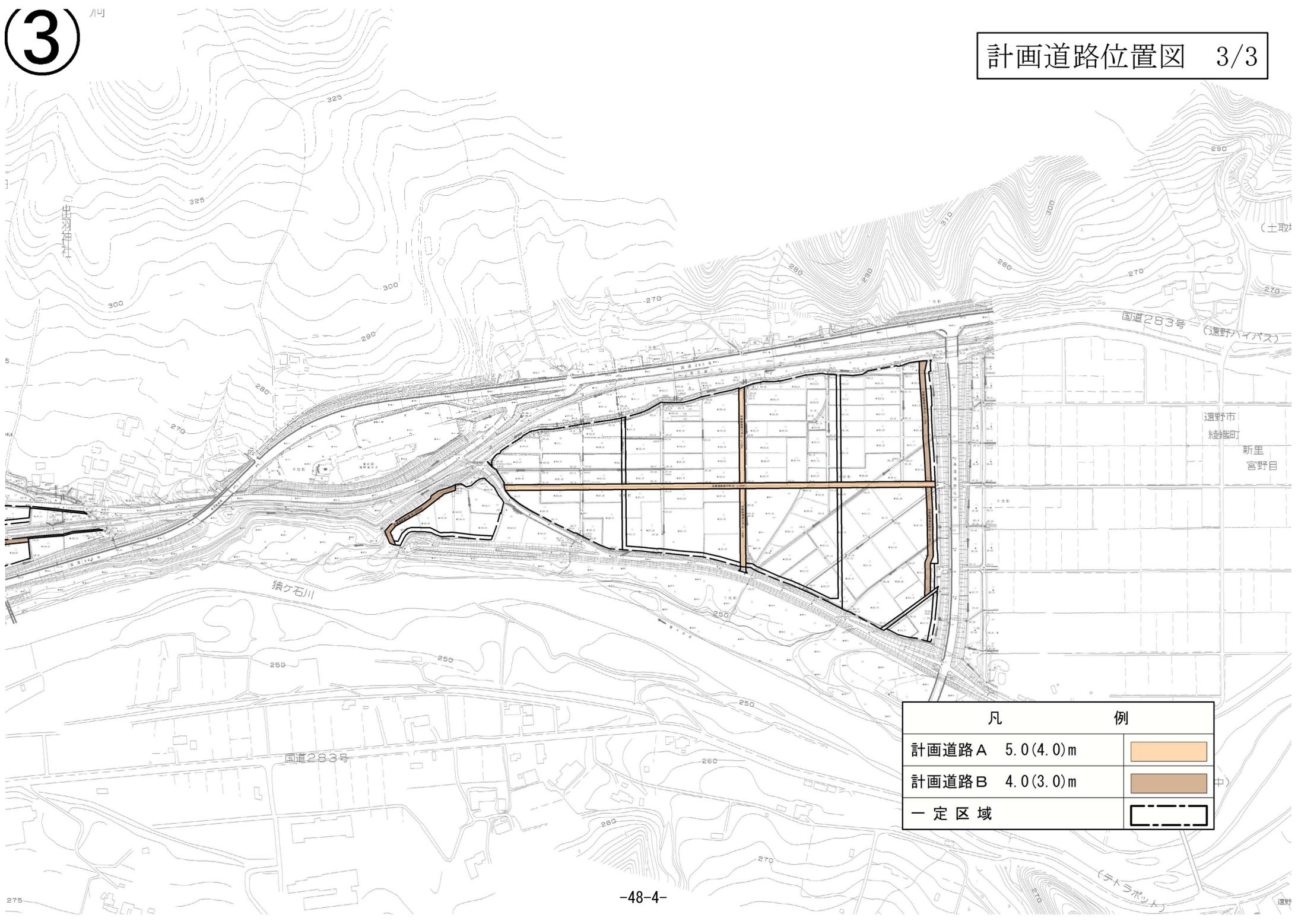
1

計画道路位置図 1/3



凡	例
計画道路A 5.0(4.0)m	
計画道路B 4.0(3.0)m	
一定区域	





凡		例
計画道路A	5.0(4.0)m	
計画道路B	4.0(3.0)m	
一定区域		

## 第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画  
 (1) 農地造成計画

該当なし

(第13表-1)

地区名	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

- (2) 末端道排水路配置計画 該当なし

2. 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

区分	面積 (ha)	土壌統 (区)名	PH		置換酸度 (Y <sub>i</sub> )	りん酸吸 収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備考
			H <sub>2</sub> O	KG1			石炭	りん酸質資材	有機質 資材	

## 第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

該当なし

(第14表-2)

項目 貯水地名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節流量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係                      該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響                該当なし
- (3) 計画基準雨量以外についての検討          該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構                                        該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準                  該当なし
- (3) 洪水調節要領                                 該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I P m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

## 第9節 農用地整備計画

### 1. 区画整理

#### (1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
125 × 80	1.0	12.1	27	0.5	
100 × 50	0.5	20.3	46	0.3	
100 × 30	0.3	5.7	13	0.2	
その他	—	3.7	8	—	
畑	—	2.8	6	—	
計		44.6			

#### (2) 表土扱い

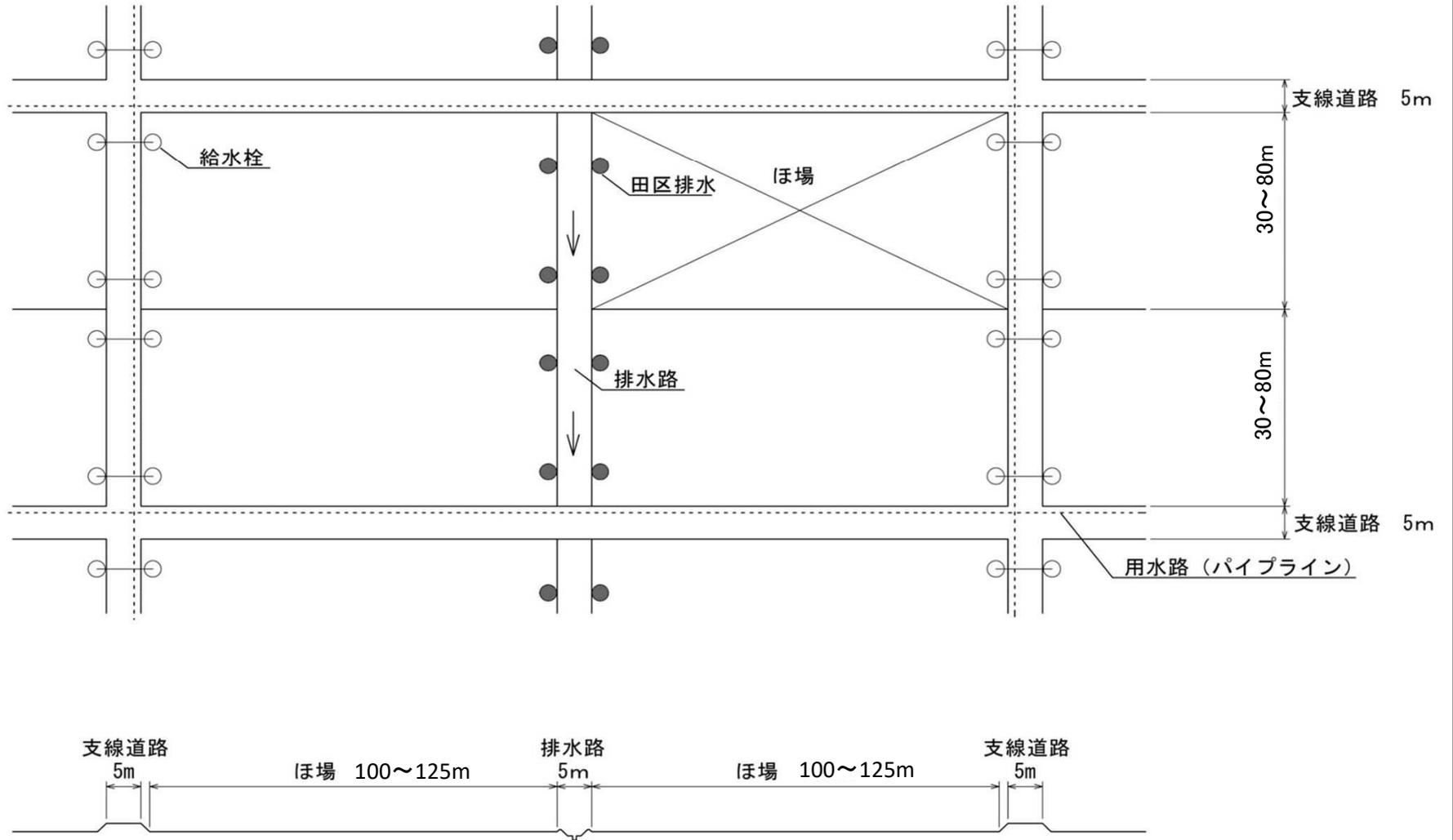
(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
44.6	地力の保持	15~20	68,300	田15cm、畑20cm

#### (3) 末端道水路配置図

別紙のとおり

### 末端道水路配置図



2. 暗渠排水  
 (1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
	事業名								
	区画整理		計						
暗渠排水	6.8		6.8	黒色土壌粘土腐植型	50	5.79	0.4	自然排水	H72
〃	3.2		3.2	礫質土壌壤土マンガン型	〃	〃	〃	〃	K93
計	10.0		10.0						

(2) 心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度 (mm/日)	備考
	事業名					
計						

3. 客土 該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工 該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 ( m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

区分 \ 項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

- 1. 洪水吐改修計画      該当なし
  - (1) 計画基準雨量      該当なし
  - (2) 計画洪水量      該当なし
- 2. 堤体補強計画      該当なし
- 3. 取水施設改修計画      該当なし

## 第 5 章 主要工事計画

### 第 1 節 用水施設

#### 1. 貯水池 該当なし

(第 17 表-1)

名 称	形 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位 置 堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 質 (千m <sup>3</sup> )	基盤地盤地質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
堤 体										
洪水吐	形 式	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工 該当なし

(第17表-2)

名 称	位 置			取 水 位 (m)	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備 考
	形 式	堤 長 (m)					
堤 高 (m)		固定部	可動部	計			

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位 置	揚 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	揚 程(m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開渠	トンネル その他	計				
	区画整理	地区外	計								
用水路工	41.8	4.0	45.8	0.134		7,460	7,460	VU100~VU500		取水工	パイプライン
計	41.8	4.0	45.8			7,460	7,460				

※地区外は農業用排水施設整備単独受益

5. その他かんがい施設

該当なし

(第17表-5)

項目 水路名	構造	規模	数量	備考

## 第2節 排水施設

### 1. 排水水門 該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

### 2. 排水機 該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程		排水機			原動機		備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形式	口径 (m)	台数 (台)	形式	動力	
計										

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考	
	事業名			開水路	トンネル その他	計					
	区画整理	計									
小排水路	44.6		44.6	0.001~0.913	7.083	0.513	7.596	HF300×300~ HF800×800	1/150~ 1/800	水槽工 横断暗渠工	
計	44.6		44.6		7.083	0.513	7.596				

4. その他排水施設 該当なし

### 第3節 道路及び索道

#### 1. 道 路

##### (1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路(A)	—	5.0(4.0)×3.201	砂利道	国道、市道取付	As舗装	8		60		
支線道路(B)	—	5.0(4.0)×2.770	砂利道	国道、市道取付	As舗装	10		60		
計		5.971				18		120		

##### (2) 道路主要構造物 該当なし

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

#### 2. 索 道

該当なし

#### 第4節 農用地造成

##### 1. 農用地造成

該当なし

##### (1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

区分	項目 樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

##### (2) 除礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目 対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去礫 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分 地 目	造成方法			
計				

(4) 開墾作業

該当なし

(第20表-4)

(5) 開墾作業

該当なし

(第20表-5)

(6) 開墾作業

該当なし

(第20表-6)

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

項目	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	備 考
区分					
計					

第5節 洪水調節施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路 該当なし
  - (1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名称	集水面積 (km <sup>2</sup> )		位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			堤長 (m)					
形式		堤高 (m)	固定部	可動部	計			

- (2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水路	項目	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

- 1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

名称	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備考	

- 2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

名称	項目	工法	幅見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考	

- 3. 附属施設 該当なし

- 4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

名称	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備考	

## 第7節 農用地整備施設

### 1. 区画整理

#### (1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	
綾織新里	12.1	125 × 80	—	12.1	18,150	田 t=15cm
	20.3	100 × 50	—	20.3	30,450	〃
	5.7	100 × 30	—	5.7	8,550	〃
	3.7	その他	—	3.7	5,550	〃
	2.8	畑	—	2.8	5,600	畑 t=20cm
計	44.6			44.6	68,300	

#### (2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
計				

#### (3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	区画整理		計														
自動埋設型暗渠工	10.0		10.0	レベル	ポリ管	φ50~60	36	水頭差	ポリ管	φ50~60	0.6	10.0	934	小排水路	HF	170	
計																	

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土 該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林 該当なし

(第23表-4)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路 該当なし

(第23表-5)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-6)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

## 第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

2. 堤体補強施設

該当なし

(1) のり面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

## 第6章 付帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	7	年度
完了	令和	14	年度

## 第8章 環境との調和への配慮

本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積52.5haの水田地域で、農地は10a～20a区画に整理されているが、今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に営農グループ別に集団化するように換地計画を樹立する。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
綾織新里	岩手県 遠野市綾織町新里 地内	52.5
計		52.5

#### 2. 換地区を設定する理由

計画地区の地形条件はおおむね同様であるので、換地工区を1区設定する

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
綾織新里	<p>換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。</p> <p>但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。</p>

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公有 地	総 合 計					
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第 1条9( )書き			計	本事業によって生ず る土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地							合 計	国	県	市 町 村 他	合 計
						土地 改良 施設	その 他	小 計		改 良 区	その 他	小 計			宅 地	その 他	計		農 業 合 理 化 施 用 地	生 活 上 の 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計							
綾織新里	従前の土地	49.0	0.2	-	0.1	-	-	-	49.3	-	-	-	-	49.3	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	-	3.2	3.2	-	52.5
	換地	41.8	2.8	-	-	0.2	-	-	44.8	-	-	-	-	44.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	7.7	-	52.5
	従前の土地																		/	/	/	/	/							
	換地																													
	従前の土地																			/	/	/	/	/						
	換地																													
	従前の土地																			/	/	/	/	/						
	換地																													
合計	従前の土地	49.0	0.2	-	0.1	-	-	-	49.3	-	-	-	-	49.3	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	-	3.2	3.2	-	52.5
	換地	41.8	2.8	-	-	0.2	-	-	44.8	-	-	-	-	44.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	7.7	-	52.5

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
綾織新里	営農グループ別集団化	予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農用地の集積が図られるように配慮する。	1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

区分 地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積(m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

##### 1. 評価の方法

###### 標準地比準方式

従前の土地の中から標準地（利用条件、自然条件ともに最良地）を選定し、標準地の土地価格1点1㎡当りの単価を定め、標準地と比較しながら各々の土地を増減点評価する。

##### 2. 清算の方法

###### 比例地積清算方式

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
綾織新里	令和11～14年度	令和14年度	令和14年度	確定測量 令和12年度

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うことができる。

## 第10章 事業費の総額及び内訳

単位：千円

事業区分	事業費		資金計画			
			国費	県費	市町村費	受益者負担
区画整理	純工事費	1,144,000	629,200 (55%)	343,200 (30%)	114,400 (10%)	57,200 (5%)
	測量試験費	263,000	144,650 (55%)	78,900 (30%)	26,300 (10%)	13,150 (5%)
	用地買収補償費	67,000	36,850 (55%)	20,100 (30%)	6,700 (10%)	3,350 (5%)
	換地費	74,000	40,700 (55%)	22,200 (30%)	7,400 (10%)	3,700 (5%)
	工事雑費					
	計	1,548,000	851,400	464,400	154,800	77,400
	事務費					
	総事業費	1,548,000	851,400	464,400	154,800	77,400

## 第11章 効 用

単位：千円

事業区分	区分	項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
営農経費節減効果		79,347	84,426		
維持管理費節減効果		△ 618	△ 19		
耕作放棄防止効果		189	-		
国産農作物安定供給効果		4,981	-		
計		103,766	86,298	総費用総便益比 1.28	

## 第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種				

## 第13章 現況・計画図面

- |            |      |
|------------|------|
| 1. 位置図     | 別途添付 |
| 2. 現況計画平面図 | 別途添付 |
| 3. 土地利用計画図 | 別途添付 |
| 4. 主要構造図   | 別途添付 |